



こうきた 2月号

杉並区立高円寺北子供園

子ども同士も教員同士も交流し円滑な接続を

園長 須田なぎさ

暖冬といわれていますが、大寒を過ぎてだいぶ冷え込み霜柱や氷ができるようになってきました。一方で梅の木は、少し蕾を膨らませていて、春も少しずつ近づいてきています。

年末には、メール配信でお願いした教育調査にご回答いただきありがとうございました。結果については、後日改めて詳しくご報告いたします。

調査の中で、「園は、教育・保育活動の充実や小学校との円滑な接続を図るために小学校と交流を進めている」という項目の評価が低くなっていました。本園は、高円寺学園との交流の機会を、年に複数回もっています。小学校入学を控えている5歳児そ組が交流の対象になっていることが多く、3・4歳児の保護者の方にとっては、「小学校との交流」はいつどこでやっていたのか?と思われ、回答不能とした方が多かったのではないかと推測しております。皆様にご理解いただけるような発信ができていなかったと反省いたしました。そこで今回は、今年度の小学校との交流についてお伝えします。

今年度の交流は、以下の通りです。5月、6年生がこいのぼりのうろこに入園進級祝いのコメントを書いて届けてくれました。8、9月に3回、高円寺学園の最新式の大きなプールにそ組が入って楽しみました。9月、5年生がそ組に阿波踊りを教えてくれました。10月、子供園の運動会前日に、6年生が組体操と歌を披露して「運動会頑張って」と応援しに来てくれました。11月は、高円寺学園の展覧会をそ組が鑑賞しました。小学生の素晴らしい作品に真剣な表情で見入っていました。そ組も作品を出展しました。さらに、1年生がつくったお店屋さんで、そ組や近隣の保育園と一緒に交流を楽しみました。2月には、1年生がそ組や近隣保育園を招待して小学校を案内してくれる予定です。(交流活動の一部はHPに掲載しています。)

子供園は、遊びを中心とした生活を通して体験を重ね、一人ひとりに応じた保育を行っています。一方、小学校は、時間割に基づき、各教科の教科書や教材を用いた学習です。このように、子供園と小学校では、生活や教育方法が異なります。子供園の幼児が小学生になる際に、戸惑いや不安を少なくするために、上記の交流活動は意義のあるものです。小学生に優しく接してもらったり、迫力の演技を見たりすることで、子どもたちは憧れの気持ちを持ち、小学校入学へ期待をもつことができます。運動会前にみた6年生の体の大きさや演技に、3、4歳児も目を丸くして「すごい」と憧れの気持ちをもったようでした。

さらに、子供園と小学校の円滑な接続のためには、教員同士も互いに理解を深めることが大切です。高円寺学園の先生方とは、年に2回集まり、テーマを設けてグループ協議をしています。また、互いの生活を参観する機会も作っています。6月に子供園の職員が、1年生の授業を参観させてもらい、12月には小学校の先生方が、子供園の保育の様子を参観してくださいました。お互いに子どもたちの様子を直接見て、対面で意見交換することで理解を深め、連携を見通した教育活動を考えていくことができます。

高円寺北子供園は、以前杉並第四小学校と一緒に暮らしていて、交流が日常だったと聞いています。そのころから比べると、コロナもあり、物理的に距離ができてしまいました。しかしその後も、交流の機会やともに学ぶ機会を設けてくださっている高円寺学園の皆様にご感謝申し上げます。

今後、円滑な接続のために、高円寺学園の先生方と連携し、互いの理解を深め、子どもたちの成長を支えていきます。

《2月の保育》

★3歳児 うさぎ組

絵本が大好きなうさぎ組の子どもたちは、絵本のストーリーをもとに好きな役を選んで動いたり、保育者と簡単なやり取りをしたりしながらおはなしごっこを楽しんでいます。今月もおはなしごっこを楽しみながら自分なりの表現で伸び伸びと役になりきることを楽しめるようにしていきます。

生活面では、いろいろなことが自分でできるようになってきました。1月からは自分で座る椅子は自分で用意したり、4・5歳のように着替え袋を使用し始め、服の出し入れを自分でしたりしています。少しずつ進級に向けて自分でする場面を増やし、できた嬉しさを感じられるようにしていきます。

★4歳児 くま組

3学期になり、より友達と関わって遊ぶことが楽しくなっています。一緒に遊ぶ友達に思いついたことを伝えたり、友達の言葉を聞き、受け入れて遊んだりする楽しさを味わえるようにしていきます。

また、学級の人々と一緒に歌ったり、楽器を鳴らしたりすることを繰り返し楽しみながら、声や音が合わさる心地よさを感じられるようにしていきます。

さらに、そう組との関わりの中で、誕生会の司会を覚えてもらい一緒に取り組んだり、これまでそう組が世話してきた飼育物の世話の仕方を教わったりしていきます。自分たちが大きくなったことを感じ、みんなでする活動の中で、自分なりのめあてをもって意欲的に取り組めるようにしていきます。

★5歳児 ぞう組

遊びの中で曲に合わせて楽器を鳴らすことを楽しみ、「こんなリズムはどうか？」とリズムのアイデアを出し合う姿が見られます。様々な楽器の音を重ねて表現する楽しさや、みんなで気持ちを合わせて演奏したり歌ったりする楽しさを十分に感じて、音楽会へとつなげていけるようにします。

また、友達を誘い合ってドッジボールや鬼遊びをして、寒さに負けず元気に戸外で遊んでいます。引き続き積極的に戸外に出て、友達とのつながりを感じながら遊びを楽しめるようにしていきます。

自分なりに考えたことをグループの友達に知らせたり、みんなの前で伝えたりする機会が増えてきました。グループで話し合いながら製作活動をしたり、くま組への当番活動の引継ぎの仕方を考えたりして、自分たちで自信をもって生活や遊びを進めて